

臨床実習で学んだこと

5月8日から4週間、新潟市民病院で総合診療内科の臨床実習をさせていただきました。

外来実習では、初診の患者さんの問診と身体診察の機会をもらいました。ここでは、訴えを正確に聞き出すことの必要性を学びました。例えば、「胸がパクパクする」というのが動悸か、あるいは呼吸困難かで考える疾患が変わってきます。

病棟では、カルテの公的文書としての役割について、指導医自身のヒヤリとした経験を織り交ぜて聞かせてもらいました。先生方のちょっとした雑談も、1つ1つが勉強になりました。

希望制で当直実習があり、内科外来とのスピード感の違いを感じました。次々と患者さんの評価を進める救急医の姿は印象的で、私も場面に即した診療ができる医師になりたいと思いました。

充実した1か月を経験させてくださった先生方、および病院スタッフの方に感謝を申し上げます。